

病気の原因について

—人間には本来病気はありません—

きむらすすむ 著

きむら指圧研究所

東京都渋谷区笹塚 1-48-19-713

TEL : 03-3485-4515 cosmo@shiatsu-k.com

<http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

はじめに

あなたもよくご存知のように、医学や科学は日進月歩で進歩していると言われていますが、依然として病気は無くなりませんね。**ガン**は相変わらず病死の第1位ですし、**糖尿病**なども6人に一人がその予備軍とも言われています。

その上に、医療事故などで亡くなる方が跡を絶ちませんし、ますます難病や奇病が増えてきて、対処が出来ないような状態になっているのが現状です。

また、多くの方は、人間が病気になるのは仕方のないことだと考えて、一生の中で一度や二度、**病気になるのは避けられない**と思っています。ですから、病気で死ぬのが当たり前のように感じています。そうした人々の考えに付け込んで、人びとの病気や死に対する不安感を煽って儲けているのが、生命保険です。

このような考えをしている限り、この世の中から病気が無くならないのは当然です。実は本来、**人間には病気は無いのです**。死ぬ時も、**自然死**(気が付いたら死んでいたといった状態)が当然なのです。

「では何故、現実に病気が存在しているのでしょうか…？」

きむら指圧研究所 <http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

それは、私達が病気の**真の原因**を知らないからです。 どうして病気になるのか、なぜ病気に罹らなければならないのか、そのメカニズムを知らなし、知ろうともせずに長年、間違った生活を続けてきたからなんですね。

「あなたは、病気はどこから来ると思っていますか？」

病気という症状の原因は、決して外にあるものではありません。でも、**ウイルス菌**などで外から感染するのではないと言われるかもしれませんが、これもウイルス菌が悪いのではなく、それを取り込んでしまう自分自身の中に原因があるのです。

それが証拠には、幾らウイルス菌が蔓延しても、それに罹る人と、そうでない人がいることを見ても、良く分かることです。

結局、**病気の真の原因**というのは、実は、**自分自身の中にある**ということですね。それはどういうことなのか、順を追って書き出してみましよう。

ただし、これは飽くまでも簡単にパターン化したものですので、各個人によってその現れ方は違ってきますので、ここでは、「ナルホド、そういうものなのか…」という程度に認識しておいてくださいね。

「その人の考え(業や因縁も含めて)に間違いがある → その人の観念体(人間の
霊体を形成しているのも)の波動が乱れる → その乱れに乗じて、邪気(マイナスな
エネルギー)が入ってくる → そうすると一層、その人の観念体が乱れてくる → す
ると、霊体(観念体によって形成されている)の波動が乱れてくる → それによって、
肉体の細胞の活動も乱れてくる。なぜなら、霊体波動は肉体も支持しているからです
→ そして、ついに細胞活動が混乱して、病気になるというわけです。」

どうですか、お分かりになりましたでしょうか？ 普段、あまり聞かない言葉や表現が
あるので、戸惑われた方もあるかもしれませんね。これをもう少し、分かりやすく言い
ますと、例えば**ガン**になる人のことを考えてみてください。

最近注目を集めている、免疫学の安保徹先生も、『**ガンの原因は、外から体内に入っ
てくる「発ガン物質」ではなく、実はその人の生き方そのものにあるのです**』と、述べて
おられます。

よく言われるのは、ガンになる人は**ガンコな性格**の人が多いいということです。これを上
記の説明から考えますと、ガンコという性格の欠陥が、やがては正常細胞をガン細胞
に変えてしまったということになります。

しかし、先ほども言いましたように、ことはそれほど単純ではありません。色々な目に見えない要因がからんで、その結果として、肉体の病気という形で現れているのです。要するに、**その人の性格の欠陥や生き方の間違いを教える為に**、病気という肉体の症状を現しているということなのです。

ただ、このことを正しく理解する為には、人間は単なる肉体だけの存在では無いということが分かっているわけではありません。肉体と言うのは単なる家(住処)のようなもので、肉体を左右しているのは、あなたの本体というか、こころ(魂)なんです。

このことが自覚できれば、病気の原因も自ずから分かってくることになります。まあ、そのことは別の機会に置くとして、ここでは実際に病気の症状を取り上げて、その**真の原因**は何か、そして**指圧**をする時にどう対処するかについて考えてみましょう。

■ 糖尿病について

【症 状】： 糖尿病が発症しますと、口が渴いて人一倍、水を多く飲み、排尿回数も増え、同年輩の人より沢山食べたいといって食べるのですが、身体がだるいとか、痩せて来るとかします。このほか、夜間の足の痛み、こむら返り、両足のシビレ感なども多いのです。

糖尿病の血液成分では、血糖値の異常だけでなく、血液の中の脂質にも異常が見られ、中性脂肪、コレステロールなどが高い値を示すことが多い。

また、**合併症**として、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症、動脈硬化症、神経障害、感染症などを引き起こします。糖尿病の恐ろしさは、この合併症の方にあります。中には目が見えなくなったり、足を切断するようになる人もいます。

【原因】： 西洋医学的には、糖尿病というのは一種の体質と考えられています。その体質の内容というのは、体内で**インスリン**(すい臓から血液中に分泌されるホルモンで、腸から吸収された栄養が体内で利用される時に必要なもの)という、ホルモンの作用が十分でないという特徴があります。

そして、この糖尿病の体質を持った人が毎日の生活でインスリンの働きを邪魔するような条件を長く続けると、ついに発症することになると考えています。

その条件というのが、過食を続けること、運動不足の生活、全身に影響のあるような病気に罹ったとき、大きい外傷を受けたとき、精神的なショックを受けたとき、などだと言うわけです。

【真の原因】： 上記の肉体的な原因の他に、もっと根本的な原因があります。基本的には、「**甘い汁を吸いすぎた報い**」ですが、おもに下記のようなことが考えられます。

1. 本来、その人に与えられた食以上の美食、過食を長年にわたり続けてきたことの報い。現在は飽食の時代と言われていますが、正にこのことです。(女性に多い)

きむら指圧研究所 <http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

2. 自己出費の無い、身に与えられていない酒、着をたびたび受けたことの報い。社会的な地位などを利用して、ただ酒、ただ食いを続けていると大変なことになります。(男性に多い)

3. 自分に与えられた福分以上の甘い汁(糖)を色々な形で吸いすぎた報い。贈収などで多額の金品をもらうことが当たり前のようになって、なんら罪の意識の無いものなどが、これに当てはまります。(男女共に)

4. 本来、すい臓のような助手的な役割(胃の後ろにあつて、表面的には目立たない)を持つ人が表面に出すぎた報い。出すぎたために、出るべきインスリンの出が悪くなり、糖が下りるようになる。(男女共に)

【指圧による対処法】：一般に、**糖尿病**の対処法としては、インスリンの注射をしたり、食事療法によることが多いのですが、徹底的に治すには**断食療法**などの思い切った方法が効果的です。勿論、ちゃんとした断食道場などで、指導者の下で行わなければなりません。断食は体質改善を図るのに最適な方法です。

さて、**糖尿病**といっても、病院で糖が出ていると言われたぐらいの軽いものから、色々と合併症を起こしている重篤なものまでありますので、簡単ではありませんが、基本的には継続した**指圧**の全身治療が必要です。

きむら指圧研究所 <http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

その中でも特に、**腹部**(へソの周りを中心)の丁寧な指圧が大切です。両親指を重ねて、他の4指は広げて、ゆっくりと深く、深部のコリに届くように腹部全体を、時間をかけて押していきます。また、手のひら全体を使って、同様に腹部を押すのもいいと思います。

次に、**下肢**(両足)全体も、両親指を重ねて押したり、把握圧を使って、じっくりと押していくと血行が良くなるだけでなく、内臓の働きも活発になります。糖尿病の方は足がだるいという方が多いので、こうした下肢の指圧治療は大変に効果があります。

そのあと、背中の**背骨**の両側を上から下に向かって、両親指を重ねて押していきますと、**自律神経**の緊張をゆるめる働きがあります。自律神経は内臓を支配しておりますので、この部位の指圧は有効なのです。

ご存知のように、糖尿病は全身病ですので、**食事療法**や**運動療法**などを併用しながら、指圧の全身治療を継続して行うことが大切です。

先ほど、**断食**がいいと言いましたが、なかなか断食道場までは行けないという方も多いと思います。その場合には、週一回、自宅で断食を続けることだけでも効果があります。例えば、毎日曜日に断食をする場合には、土曜日と月曜日は普段の食事の量の半分か三分の一程度にしておくことが大切です。

そして普段から、食事の量を少なめにしていくことが大切です。

きむら指圧研究所 <http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

何といても、糖尿病は昔から、**王様の病気**(贅沢病)とされているぐらいですから、飽食、美食、暴食をして運動不足な人がなりますので、この逆を行えばいいというわけです。

■ 胆石について

【症状】：最も特徴的なのは、**症痛(せんつう)発作**です。これは突然に現れる激しい上腹部、または右上腹部の痛みですが、特に夕食に天ぷらや、うなぎなどを食べた後、数時間たって、多くは夜半の寝入りばなに襲来することが多いのです。

痛みは右肩や右背中に放散して、寒気や震えを伴い、吐き気があり、黄色い液を吐いたりします。数時間のうちに治りますが、多くは石から鎮痛薬や痙攣を抑える注射をしてもらって治ります。

胆石を持つ人は、発作の無いときでも、右上腹部の圧迫感、吐き気、腹はり、ゲップ、便通異常、特に便秘などの胃腸症状が見られます。

また胆石を持ちながらも、胆石による症状がなく、健康な生活を送っている人も少なくありません。これを無症状胆石(サイレント・ストーン)と呼んでいます。

【原因】：胆石というのは、胆汁の成分から、胆のうや胆管のなかで出来る石のことです。胆石の成分によって、**コレステロール胆石**(胆石の7, 8割を占めます)と**色素胆石**というのがあります。

このうち、コレステロール胆石は女性に多く、また肥満した人に多い傾向があります。妊娠とか、帯、コルセットの常用などに関係があるのではとされています。また、脂肪の摂取量が増えたことも大いに関係あります。

また最近では、胆石の出来やすい人は、肝臓から排出される胆汁が、既に胆石を作りやすい状態にあり、特に胆汁中の胆汁酸に対するコレステロールの割合が高いということが指摘されています。

他にもストレスの多い、不規則な生活をしている人や、食事時間無短く不規則な人に多いとも言われています。

【真の原因】：上記のような肉体的な原因の他に、下記のような根本的な原因が考えられます。

1. 脂肪分の多い食物(肉や天ぷら、うなぎなど)を好む人(常食する人)
2. 性格がアッサリしない人(物事に執着する人、諦めの悪い人)
3. わがままな人(思い通りに行かないと腹を立てたりする人)
4. ものが気がかりな人(ちょっとした事でも、何時までもグズグズと考える人)
5. ガンコで性格の固い人(融通の利かない、依怙地な人)

ちょっと、例に出しては申し訳ないのですが、わたしの家内の兄姉はともに胆石で手術をして、胆のうを取っています。

きむら指圧研究所 <http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

この両人がまさに、上に述べた**真の原因**にあるような人なのです。一人は、何時までもグズグズと昔のことばかり話したり、物事に執着する人ですし、もう一人は非常にガンコ者です。

一般に、**胆石**や**腎臓結石**のように身体に石(と言っても、本当の石ではありません)が出来るのは、性格が**ガンコ**(石のように固い)だからだと言われています。

【指圧による対処法】 : 胆石のある方は、普段から腹部の**膨満感**(腹が張る感じ)があったり、足がだるいとか、肩こりがひどいと訴える人が多いものです。

こうしたことから考えて、まずは腹部、特に右上腹部(胆のう、肝臓の部位)を中心として、親指や手のひらを使って、深い持続圧を加えることが大事です。その後、腹部全体をゆっくりと指圧をしていきます。

次に、足全体を把握圧や両親指圧でゆっくりと指圧します。そして、今度はうつ伏せの状態、肩の周りや背中(背骨の両側)を両親指で、じっくりと押していきます。ここは自律神経の緊張を緩めてくれる所ですから、大事なところです。

一番大事なことは、継続して指圧の全身治療をすることです。そうすると、知らないうちに石が出ていたりして、「**胆石症痛(せんつう)**」の激痛に見舞われないで済むようにもなります。

このほか、本人が適度な運動をすることも大切です。また、「**ふのり**」と言う海草を常食する(例えば、味噌汁の中に入れてかして)と、胆石の石を出すと、昔から言われています。

きむら指圧研究所 <http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

この胆石のことで、思い出したことがあります。それは、わたしが、**指圧専門学校**に通っていた当時の話です。同級生に、ひとりの肥満の中年の女性がいました。彼女は何時も、授業中でも何か間食をするような人でした。

ある夏、指圧の夏季大学の授業で熱海のホテルに泊まっているとき、朝食を済ませて大広間をでたところ、もう彼女は売店でイカの照り焼きを買って歩きながら食べていました。それを見て、エー、今朝食を食べ終わったばかりなのに、もう間食をしているのかと驚きました。

その後です、事件が起きたのは。じつは、その女性が部屋に帰ってから、**胆石症痛**（せんつう）に襲われ、七転八倒の苦しみに陥ったのです。幸い、同行していたものが全て指圧関係者であった為に、何人かで適切な指圧治療をして、病院に運ぶこともなく、事なきを得ました。

その彼女が、指圧学校を卒業してから間もなく、亡くなったと聞きました。詳しいことは知りませんが、学校時代の彼女を知っている者にとっては、然もありなんと感じた感じでした。

どうでしたか。少しは**病気の原因**についてお分かり頂けたでしょうか。どうか、これを機会にご自分で考えてみてくださいね。こうしたことを一人一人が自覚することで、やがては病気が無い社会を築いていけるようになると確信しています。

最後にもう一度言います。

人間には、本来、病気はありません！

きむら指圧研究所 <http://www.shiatsu-k.com/>

Copyright(C)きむら指圧研究所 All Rights Reserved

お知らせ

指圧治療と講座の案内

1. 指圧治療代金 : **5,000円**(5回分の回数券:24,000円)
10,000円(出張治療—5回分の回数券:48,000円)
2. 指圧講座代金 : **初級講座**(10回)—**50,000円**(通常、60,000円)
—この「インターネット指圧講座」と同じような内容を個人指導で、10回に分けて徹底してお教えします。

中級講座(10回)—**50,000円**(通常、60,000円)
—腹部の診断法である「切診」を中心として、より効果のある全身治療のやり方を、10回に分けてお教えします。
中級を終了すると、「修了証」を差し上げます。

臨床講座(10回)—**50,000円**
—「ポラリティー」「楽健法」「操体法」などの基本的なやり方を学ぶと共に、実際の病気の原因や指圧による対処法などを学びます。

指圧洗心塾講座(10回)—**60,000円**
—通常の指圧のやり方を学ぶ講座(1時間)と、宇宙の法則を学ぶ講座(1時間)を合わせたものです。詳しくは、こちらをご覧ください。<http://www.shiatsu-k.com/senshin/>

きむら指圧研究所

cosmo@shiatsu-k.com <http://www.shiatsu-k.com/>

Copy right© 2004 きむら指圧研究所 All Rights Reserved